

## マーク・コフマン

## Mark KAUFMANN

所属：日光アイスバックス

ポジション：FW

生年月日：1971年6月7日

出生地：日本（カナダ）

【プロフィール】東京で生まれ、6歳の時にカナダへ戻るまで日本で育った。1989-1990シーズンから4年間、NCAAのイェール大学でプレーをし、2回NCAAファーストオールスターチームに選ばれている。卒業後はカナダ代表やイタリアリーグのアシアゴ、AHLのポートランド・パイレーツ、スイスリーグ（NLA、NLB）、オーストリアなどでプレーした後、日光アイスバックス入りした。カナダ代表としてオリンピックや世界選手権の出場はないものの、100試合以上プレーした経験もある。

【レビュー】コフマンはトータルバランスがすごく良い選手でした。五角形のチャートがあれば、正五角形になるタイプです。ゲームメイクもでき、スコアもできる。守りもできて、体を張ったプレーでチームへの貢献度も高かったです。すべてをやりながら驕ることもなく、人間的にも優れていました。チームのみんなと接しチームを鼓舞し、チームを引っ張るチームリーダーでした。

日本人に近い体格でしたので、NHLには行っていません。ヨーロッパのアイスホッケーも知っていて、いろいろな国のことも知りたい、体験したいタイプだと思います。その中で、日本もあったのかと思います。

東京生まれでしたが、当初は、日本語はそんなにうまくはなかったです。クレバーでしたから1年目の終わりでは、日本語で会話ができるようになっていました。

ところで、彼のお父さんですが、英語はもちろん、フランス語やドイツ語なども話せ、日本語もペラペラ。中国語も広東語と北京語、さらにスウェーデン語もできました。特にスウェーデン語はペラペラで、コフマンと一緒にいた（パトリック・）デガステッドが、「マーク（・コフマン）のお父さんのスウェーデン語がはすごい」と言っていましたし、（高橋）朋成の実家が中華料理屋で、シェフが中国人。中国語で会話していました（笑）。我々と話す時は完璧な日本語でした。

【日本リーグアワード】ベスト6：第35、36回

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ										プレーオフ				
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)		
1999-2000	第34回	日光アイスバックス	6位	6	6回総当たり	6位	15	7	7	14	5 / 10	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
2000-2001	第35回	日光アイスバックス	6位	6	8回総当たり	6位	40	25	30	55	18 / 44	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
2001-2002	第36回	日光アイスバックス	6位	6	8回総当たり	6位	38	28	36	64	12 / 24	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
2002-2003	第37回	日光アイスバックス	5位	5	8回総当たり	5位	22	15	17	32	/	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
						計	115	75	90	165	35 / 78		計	-	-	-	-	- / -

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

第37回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（回数/分）は未掲載（調査中）

第1版：2026年3月15日・記

## パトリック・デガステッド

## Patrick DEGERSTED

所属：日光アイスバックス

ポジション：FW

生年月日：1970年5月22日

出生地：スウェーデン

【プロフィール】スウェーデンのトップリーグのエリテセリエンのフェルイエスタッドや、下部リーグとなるディビジョン1のチームなどでプレー。来日前の1998-1999シーズンはドイツリーグでプレーした。アイスバックス退団後は、スウェーデンのディビジョン1のIKビータ・ヘステンなどでプレーした。現役引退後は、ビータ・ヘステンのジュニアチームの監督などを務めた。

【レビュー】アイスバックスの1年目（第34回日本リーグ）は、外国人選手が加入するまで全く勝てず（1分12敗）、まず、デガちゃん（デガステッドの愛称）だけが加入し札幌で初勝利を挙げました。それまでのスウェーデン人の印象は物静かだと思っていましたが、それが変わるぐらい陽気で話し好きでした。彼はチームがそれまで負け続けていたことも雰囲気も知りません。「オレが来たからやってみよう！」といった感じで勢いを持ってきた選手で、プレーでチームを引っ張り、彼が加入してチームの雰囲気や勢いも変わりました。

1年目は4ゴールですが、もっと得点していた印象があります。スコアリング能力は高く、攻守ともにあきらめないタイプで、粘り強いプレーヤーでした。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)		
1999-2000	第34回	日光アイスバックス	6位	6	6回総当たり	6位	17	4	15	19	9 / 18	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
2000-2001	第35回	日光アイスバックス	6位	6	8回総当たり	6位	30	14	25	39	/	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
						計	47	18	40	58	9 / 18		計	-	-	-	-	- / -

G：得点／A：アシスト／P：ポイント

第35回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（回数/分）は未掲載（調査中）

第1版：2026年3月15日・記

## ジャクソン・ヘイグランド

## Jackson HEGLAND

所属：日光アイスバックス

ポジション：DF

生年月日：1976年5月14日

出生地：カナダ

【プロフィール】 日系人プレーヤー。1995-1996シーズンから4年間、NCAAのプリンストン大学でプレー。その後、CHLのコロンバス・コットンマウスやECHLのデイトン・ボンバーズなどでプレーして日光アイスバックス入りした。

【レビュー】 プリンストン大学出身のクレバーで、プレーも堅かった選手です。体を張って守る頼りになるDFでした。アイスバックスで2シーズンが経過したため、会社（古河電工）へ戻る選手もいたため、DFが手薄になりました。そんな中、DFの核になってくれました。コクド戦で顔にバックが当たり、顔面骨折などひどいケガをし、カナダへ帰国しました。次のシーズン、顔に麻ひが残っていましたが、戻って来てくれたのです。「来ない」と言われたらどうしようと思っていたので（笑）、うれしかったですね。得点力があるDFではなかったですが、常に体を張って守ってくれるDFでした。人間性も良く、チームに馴染むのも早かったです。ソルトレークシティオリンピックのアイスホッケーの決勝を、食べ物を用意してチームメートと家に集まって観戦しました。

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ					
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	試合	G	A	P	反則(回数/分)		
2000-2001	第35回	日光アイスバックス	6位	6	8回総当たり	6位	36	2	8	10	11 / 22	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
2001-2002	第36回	日光アイスバックス	6位	6	8回総当たり	6位	27	7	9	16	9 / 26	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
2002-2003	第37回	日光アイスバックス	5位	5	8回総当たり	5位	32	2	1	3	/	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -	
						計	95	11	18	29	20 / 48		計	-	-	-	-	- / -

G：得点/A：アシスト/P：ポイント

第37回日本リーグ・レギュラーリーグの反則（回数/分）は未掲載（調査中）

第1版：2026年3月15日・記

## ロバート・ミワ／三輪ロバート駒生

## Robert MIWA／Robert Komao MIWA

所属：雪印→日光アイスバックス

ポジション：FW

生年月日：1970年5月12日

出生地：カナダ

【プロフィール】日系人プレーヤー。来日前の2年間は大学卒業のため、ほとんどプレーはしていなかったが、1990-1991シーズンから2年間、ヨーク大学でプレー。1994-1995シーズンから6シーズン雪印でプレー。その後、1999-2000シーズンからは日光アイスバックスに移籍し、7シーズンプレー（アジアリーグを含む）。2005-2006シーズンからは王子イーグルス（アジアリーグ）でプレーした。2001-2002シーズン中に帰化して日本国籍を取得。そのシーズンから日本代表入りを果たした。世界選手権は2回出場12試合1ゴール1ポイントをマークした。現役引退後はカナダのジュニアチームの監督などを務めた。

【レビュー】三輪が雪印入りした当初は、動きも速くなくバトルも弱かった。そんなに上手い選手ではなく、1、2年目は3つ目か4つ目でした。雪印入りする前のブランクシーズンが影響していたかと思えます。しかし、トレーニングを積んでコンディショニングが良くなりだした3年目以降、レベルアップし、元々持っていた実力を出せました。スキルプレーヤーと言うよりはチームプレーヤーで堅実な選手。また負けず嫌いもあって闘争心もありました。ハードワークでチームに良い影響を与えてくれました。日系人選手枠などがあり、雪印から出すことになりました。雪印で主力にはなり切れませんが、アイスバックスでは超主力選手。彼と対戦した際、こんなに上手かったかなと正直思うほど、成長を感じました。（評：雪印時代・岩本裕司）

雪印時代はヤンチャな選手の印象があります。がっちりした体格ではなく、軽快でスピードがあり、人を使うイメージがありました。スコアに絡んでくる選手でしたから、嫌な選手でした。

チームメートになっても同じ印象です。日本語も上手く社交的で、日本人とも溶け込み、外国人とも良い関係を築き、日本人と外国人との橋渡しの存在として、チームを引っ張っていました。

アジアリーグになりますが、王子製紙（当時、現・レッドイーグルス北海道）でもチームメートになりました。住まいが近く、アイスバックス時代より親密になりました。（評：アイスバックス時代・春名真仁）

シーズン	回数	所属	最終順位	レギュラーリーグ									プレーオフ				
				チーム数	対戦方式	順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)	最終順位	試合	G	A	P	反則(回数/分)
1994-1995	第29回	雪印	5位	6	前後期各3回総当たり	5位※	26	4	3	7	24 / 70	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
1995-1996	第30回	雪印	6位	6	前後期各4回総当たり	6位※	35	14	15	29	16 / 32	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
1996-1997	第31回	雪印	4位	6	6回総当たり	4位	30	14	13	27	12 / 24	セミファイナル敗退	3	0	1	1	8 / 16
1997-1998	第32回	雪印	3位	6	8回総当たり	2位	40	11	17	28	16 / 40	ファイナル敗退	4	0	2	2	3 / 6
1998-1999	第33回	雪印	5位	6	8回総当たり	5位	40	11	17	28	13 / 26	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
1999-2000	第34回	雪印	5位	6	6回総当たり	5位	23	11	12	23	8 / 16	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
2000-2001	第35回	日光アイスバックス	6位	6	8回総当たり	6位	31	9	15	24	10 / 38	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
2001-2002	第36回	日光アイスバックス	6位	6	8回総当たり	6位	37	11	24	35	6 / 12	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
2002-2003	第37回	日光アイスバックス	5位	5	8回総当たり	5位	27	12	9	21	4 / 8	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
2003-2004	第38回	日光アイスバックス	4位	4	前後期各4回総当たり	4位※	24	4	11	15	4 / 8	プレーオフ不出場	-	-	-	-	- / -
				計									計				
				313 101 136 237 113 / 274									7 0 3 3 11 / 22				

※第29、30、38回は前後期制のため、前後期合計による順位

G：得点／A：アシスト／P：ポイント